



星野再審ニュース 221号



星野文昭さんの絵
「米沢の近く、
暁子、お母さんと行くゆり園」

■発行
星野さんを取り戻そう！全国再審連絡会議

■発行日 毎月15日

■購読料 1部100円(送料80円)

■連絡先 〒105-0004
東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階
TEL 03-3591-8224
FAX 03-3591-8226

■E-mail qq8u2cd9@dream.ocn.ne.jp

■URL <http://fhoshino.u.cnet-ta.ne.jp/>

■賛同会員 1口年間3,000円
(ニュース無料配布)

郵便振替 00110-5-155521

星野文昭さんに連帯のお便りを

〒779-3133

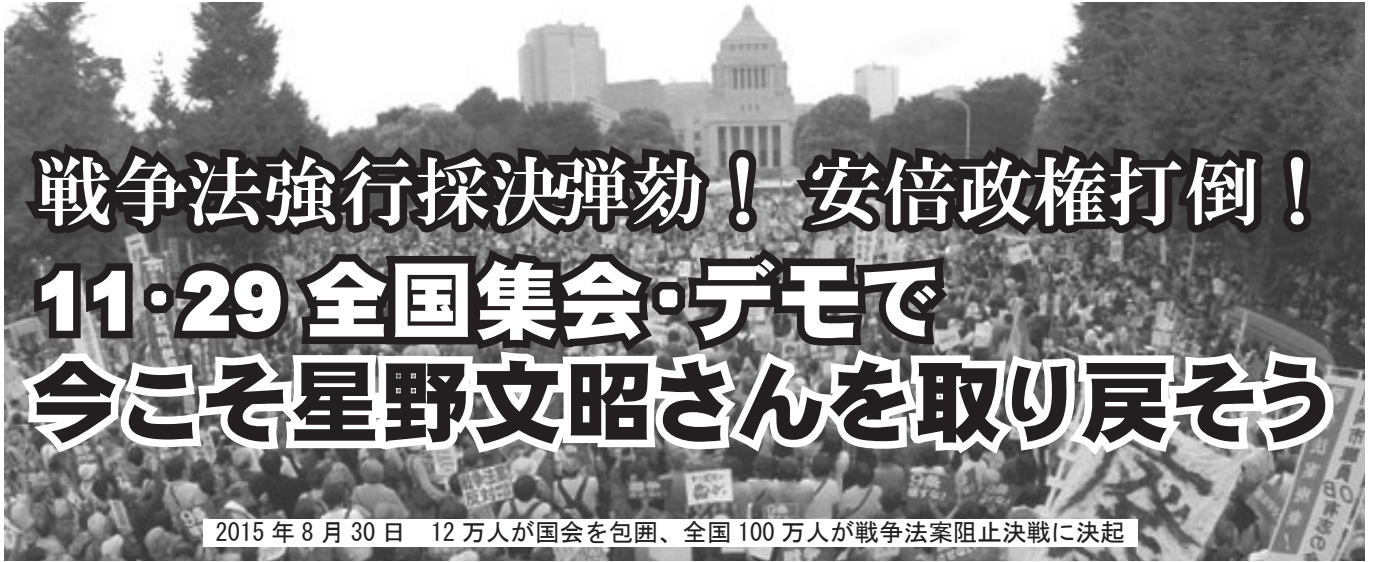
徳島市入田町大久 200-1 星野 文昭様

10月号の紙面



国会前を封鎖する機動隊とスクラムを組んで対峙する全学連(9月16日夜)

11・29 全国集会・デモで	
今こそ星野文昭さんを取り戻そう	2
9・5 全国総会発言	3
国会闘争と一体で闘われた絵画展	4
杉並	
成田	
加須	
秋田	
岡山	
横浜	
9・5 全国総会発言	6
9・6 デモ感想	
アメリカからのメッセージ	
徳島面会日記	7
インフォメーション	8



戦争法強行採決弾劾！ 安倍政権打倒！ 11・29 全国集会・デモで 今こそ星野文昭さんを取り戻そう

2015年8月30日 12万人が国会を包囲、全国100万人が戦争法案阻止決戦に決起

9・6 徳島から11・29 都心デモへ

9月19日、安倍政権は戦争法案を強行採決しましたが、労働者民衆の中にはあきらめも敗北感もありません。9・6徳島刑務所デモは、国会前の巨万の闘いと一つのものとして実現され、労働者民衆の力で安倍政権を倒す闘いに道を開きました。その上に、11・29全国集会を開き、裁判所、検察庁を直撃する都心デモを行います。

安倍政権を打倒しよう

日本全土に戦争への怒り、安倍政権への怒りがあふれています。安倍政権が進める戦争は1%の資本家のために99%の労働者人民を犠牲にするものであり、福祉や医療、教育の破壊と一体です。派遣法改悪は、青年労働者を生涯派遣・非正規とするものです。新自由主義は人間社会の基本的なあり方を破壊し、「もう我慢できない。生きさせろ」の声が吹き出していきます。いかなる弾圧もこの闘いを圧殺することは出来ません。闘う労働組合が広範な怒りの中軸で立ち上がる時、社会は変わります。ゼネストと国際連帯で戦争を阻止し、安倍政権を倒そう。動労総連合を全国に建設し、11・1労働者集会に集まろう。

星野さん解放を宣言

9月6日、720人が全国から集まり、徳島刑務所を包囲する感動的なデモを実現しました。星野暁子さんが「文昭、みんなで迎えに来ましたよ！」と呼びかけ、みんなで「ソリダリティ」を歌い、平良修さん、辻川慎一さんらが「必ず取り戻します」と呼びかけました。これらの声はしっかりと届き、星野さんは「獄壁が薄くなったようだ」と語りました。徳島刑務所デモは獄壁を超えた「集団面会」となり、労働者階級の力で必ず星野さんを解放することを宣言しました。70年安保・沖縄闘争を闘って無期懲役とされ、獄中41年を不屈に闘う星野さんを私たちの手に取り戻す情勢が訪れています。

100万人の署名で取り戻そう

この一年、50を超える星野絵画展が開かれ、星野闘争は大きな飛躍を勝ち取りました。愛知県、高知県で新たな星野救援会が結成されました。更に、全国全ての県に「救援会」を作ろう。多くの絵画展で労働組合を軸とした実行委員会がつけられ、市

民運動を始め、多種多様な人たちが心を一つにして闘っています。

安倍政権打倒の闘いと一体で全証拠開示100万人署名を集め、再審・無罪をかちとろう。ニュースの新聞化を実現し、100万人を組織する運動に大飛躍しよう。この力で、今こそ星野さんを取り戻そう。

11・29集会に全国から集まり、都心デモに打って出よう。

今こそ星野文昭さんを取り戻そう

11・29 星野全国集会

日時 11月29日(日) 12:00 開場、13:00 開会
集会後都心デモ 15:40 出発
会場 星陵会館
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-16-2
電話 03-3581-5650
<交通=東京メトロ>
有楽町線・半蔵門線・南北線
永田町駅6番出口より 徒歩3分
銀座線・丸の内線
赤坂見附駅11番出口より 徒歩7分

11・1 全国労働者 総決起集会

ストライキで戦争をとめよう
国際連帯で戦争をとめよう

11月1日(日)12時開会
東京・日比谷野外音楽堂

9・5全国総会

9月5日、徳島市トモニプラザに180名が集まり、全国総会を開催しました。開会、閉会と暁子さんの発言を紹介します。

政治犯・星野さんを 取り返そう

〈開会の挨拶〉 戸村 裕実

8月30日、国会で「安倍を倒せ」という戦争法案に反対する多くの民衆の結集がかとられました。60年安保闘争を想起させるような闘い、あの当時は「岸を倒せ」でしたが、今回は「安倍を倒せ」の声が国会を取り巻きました。こういう情勢の中での全国総会、明日の徳島刑務所包囲闘争です。

1971年、星野文昭さんは沖繩闘争、三里塚闘争を先頭で闘いました。破防法が適用されても組織の壊滅がでない中で、一点、星野さんに弾圧が集中しました。星野さんは非妥協、非転向で今日まで闘い抜いています。星野さんは政治犯です。政治犯とはその人の思想を弾圧し、つぶそうとする



ることに他なりません。この国家の力を打ち返すためには、多くの人々の決起が必要だと

考えます。私たちは、政治犯である星野さんを、裁判闘争と共に多くの人の決起で取り返さなければなりません。

明日、徳島刑務所包囲闘争を行います。星野さんを取り戻すために決起しようではありませんか。「星野さんを70歳までに取り戻す」と暁子さんも訴えて来ました。その時が近づいて来ました。今日の総会を成功させ、明日の徳島刑務所包囲闘争を断固闘い抜きましよう。

愛・きずな・団結に根ざした 国鉄と星野の闘いで

星野 暁子



文昭は高揚した気分です。明日の徳島刑務所包囲デモを待ち望んでいます。国鉄闘争と星野の

闘いが本当に一体であること、愛・きずな・団結に根ざした国鉄と星野の闘いをもつてすれば、安倍政権を倒せると提起しています。

文昭は、「労働者民衆が国会前で12万、全国350カ所で立ち上がっている。星野や国鉄の闘いが手にしている、すべてを奪う攻撃に絶対反対を貫くこと、自らとすべての労働者人民を信じて一つに団結した力で勝利してい

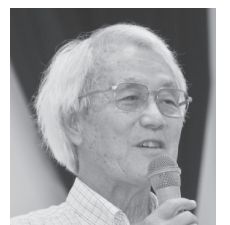
く闘いを最大の武器にして闘えば安倍は倒せる、その力で星野解放も勝ち取れる」と、強調していました。絵画展は、全国で50を超えて取り組まれています。絵を見た人が、「人間ってこんなに素晴らしいものなのか」と感想を寄せてくれています。8月の杉並

絵画展に向けて、労組や教会をまわり、飲み屋にも、映画館にもビラを置いてもらうということをやりました。街頭でのビラまきを地区の人たちが担ってくれました。こうした取り組みが、星野が大衆運動として認知されていく大きな条件をつくりあげています。70歳までに取り戻したい、その願いが各地の絵画展開催に結びついています。明日の徳島刑務所包囲デモにつながっています。明日の闘いをやりきって、9月13日の戦争法案粉砕国会前闘争に再び集まりましよう。

すべての都道府県に 「星野救援会」を

〈閉会の挨拶〉 平良 修

私は職業はキリスト教会の牧師です。昨日は困る訳です。しかし、明日の日曜日はキリストは徳島刑務所にいらっしやる。弟子として私はそこに行きます。星野さんからのメッセージは非常に



長くて分かりにくい文章です。しかし、忍耐を持って読み慣れたら分かります。時間をか

けて繰り返し読んだら、通じてきます。その文章を暁子さんは、適切に分かりやすく補足してくれました。夫婦一体で本間に良いメッセージを、私たちは共有出来ました。暁子さん、ありがとう。岩手の岡田さんの活動報告がありました。足を運ぶことでもって報いはあるんだと、足を運ばなければ報いは出てこないわけです。私は共同代表のあべき姿を、強く指摘された総会であつたと思っています。

沖繩の絵画展に来た人が「星野さんという方は高潔な方なんです」と言いました。私たちの運動は、泥まみれになることは全然厭いません。しかし、高潔であることは維持しましょう。

愛知と高知が加わり、29の救援会が出来ました。しかし、まだ全県にはない。今年の具体的な目標は、全ての都道府県に救援会作っていきましょう。

外国に救援会を作っても良いじゃありませんか。全国を上げて国際的な連帯の中で星野救援の運動はあるんだという実態を作っていきましょう。そういう覚悟で、今日の総会を本当に良かったと思つて終わりにしましょう。

杉並

絵画展のもつ力を確信

杉並 狩野 満男



8月27日から31日まで阿佐谷地域区民センターで、「星野文昭さんを取り戻そう！東京連絡会」と「杉並・星野文昭さんを救う会」の

共催で、「星野文昭・暁子／絵と詩展」を開催しました。30日夜には「今こそ星野文昭さんを取り戻そう！8・30集会」を実行委員会主催で開催しました。

今回の絵画展の成功で絵画展が持つ力を確信できました。来場者409人、賛同120口、署名64筆、アンケート71枚、『愛と革命』8冊、詩画集6冊、CD「ソリダリティー」3枚、狭山署名にも多くの方が応えてくれました。

学習会や現地調査を積み上げ、昨年から始まった実行委員会を徹底的に強化し、西部労組交流センター、西部ユニオンを軸に5団体が集い、全てやり切りました。学校を始めとする労働組合まわり、児童館訪問では『愛と革命』の販売も成功。区掲示板の活用、各所への置きピラ、三里塚野菜ケースへのピラ入れ、マスコミへの訴え。「いわて救う会」との連携も成功し、広範な宗教者をもつかむ情勢になっていきます。

商店街でのピラまきは絶大な力になり、会場内では、「ソリダリティー」が流れるなか、暁子さんを囲む来場者の輪が何度でもできました。集会には70人が参加。

安倍打倒・安保法制反対国会12万人の闘いから多くが駆けつけ、その熱気が星野さん奪還の思いにつながりました。第一部では、暁子さんが「星野文昭とともに生きた29年の『愛と革命』」を語りました。国会前から駆けつけた岩井信主任弁護人は「星野再審の現段階」の報告で、安倍政権打倒と再審実現を一つのものとして提起しました。第二部では、杉並救う会、労組交流センター、西部ユニオン、全国水平同盟杉並支部、杉並救援会が、星野さん奪還を闘う決意を語り、9・6徳島闘争総決起を誓う場となりました。

成田

成田での闘いの突破口開く

千葉 大熊 寿年



成田市で初めて開かれた星野絵画展は、8月27日から29日の3日間、成田実行委員会の主催、千葉取り戻す会の全面的協力で行われた。船橋、千葉市に続いて県内3カ所目であり、成田市公津の杜「もりんぴあ」の会場には235名が来場し大成功だった。「避難プロジェクト千葉」の写真や中谷

美弥さんの絵画も展示され、広くて明るい会場は好評だった。

会場内では「ソリダリティー」の歌を流し、数種類のDVDも繰り返し上映しました。星野署名や市東さんの緊急5万人署名等86筆の署名と、5万円余のカンパが寄せられた。三里塚反対同盟も市東孝雄さん、萩原富夫さんが家族連れ5人で、宮本麻子さん、木内敦子さん、伊東信晴さんらが参加された。

絵画展に向けて、数回の成田駅と公津の杜駅前でのピラまき、会場周辺での戸別ピラ入れや当日の会場入り口など3000枚のピラを配布した。

アンケートには、「人間愛がこもって書いて書かれた詩は世界のすべての人間に話しかける普遍性に満ちている」、「私も絵をやっていますが、すばらしいです」「真心が伝わる優しい絵ですね」などの感想が寄せられた。星野さんが三里塚闘争を闘っていたことも来場者に伝わった。最終日には、全国再審連絡会議共同代表の戸村裕実さんに来ていただいて、再審を巡る現状と今後の闘いについて話していただいた。星野さんのことを初めて知った人が多く、星野さん奪還・再審闘争に向けた成田での闘いの大きな突破口を切り開くことができた。

加須

「事態の重大性を教えられた」

加須 宮原 暎

8月30日、埼玉県加須市で絵画展を開催しました。初めてのことで不安がいっ



ばいだったのですが、越谷実行委の協力を受けて開くことができました。蓋を開けてみると、予想以上の反響でした。立地条件の良さ

(駅から近く、図書館を併設している市民会館・「市民プラザ加須」の入り口にあるホール)もあって来場者68名、署名29筆、カンパは12900円にものぼりました。

入場者の反応で特徴的なことは、「日本にこんな人がいたのか」「全く知らなかった」と驚きの声をあげる人ばかりだったことです。獄中40年の闘いの事実を初めて知った人の反応に、我々自身、事態の重大性を教えられました。無実の罪で獄中40年など、本当に無茶苦茶です。このことに我々はまず正面から向き合いました。

まず知ってもらおうこと、ここからしか一切は始まらないし、知ってもらえば必ず力になってくれると実感しました。当日は、8・30国会前12万人行動日で、「これから国会前に行く」という人もいました。絵画展は、そのような人々と結合し、情勢と切り結ぶことのできる闘いになりました。星野さんの絵には、人を勇気づける力があると感じます。加須のような小さな町で、この反響です。全国いたるところに無数の絵画展を組織しよう。

国々調争い！本々闘つてこの絵画展

秋田

時代が変わった

秋田 小玉 由利子



8月28日
30日の秋田「星野文昭・暁子二人展」は成功裏に終わることができました。「ソリダリテイ」を音をおさえて流し、一角

にパソコンを置き、DVD3枚をいつでも見られる状態にセットしたら、何人も熱心に見てくれました。チラシを見た、ラジオで聞いた、新聞広告を見たと多くの方が足を運んでくれ、66名が来場してくれました。3000枚のチラシを秋田駅前、県庁前、市役所、JR職場前、まき、秋田市内の図書館、公共施設、教会、学校、マスコミ等を廻り、チラシと署名のお願いをしました。「週間アキタ」も掲載してくれました。

初日、ケーブルテレビが取材をして、翌日5回も流してくれました。駆けつけた「いわての会」の岡田さんと、取材中の記者との交流もあり、絵と詩のコラボがより一層伝わったように思いました。69年に「庄殺の森」を見たという60代半ばの男性は、「まだ獄中にいるとは思わなかった」と立ち去

れないで佇んでいました。日本画家の方は、「一緒に元旦の朝日をスケッチに行きたいですね」とメッセージを下さいました。

いわての岡田先生の知人の牧師さんは、「優しい絵と感受性豊かな詩のコラボが心に残りますね」。また、祖母に連れられて来た10代の女性のお孫さん2人は、話を聞いて絶句、「頑張つて下さい」とメッセージをくれました。

秋田駅前の集会・デモに参加する前に立ち寄った女性はDVDをみて、自身の70年闘争を思い出したと真剣に見入っていました。「心から、満足できる展覧会だった」というのが私たち全員の感想です。秋田の会はいつも明るく、楽しく、星野闘争に取り組んでいます。

岡山

星野さんの闘いの力を感じた

岡山 植野 忠

岡山絵画展は、9月3日、4日、岡山駅西口・奉還町りぶら1Fギャラリーで開催しました。9・6徳島刑務所デモ直前でもあり、2日間だけ、しかも平日であったが、賛同30人、来場120人、感想19人、



署名42筆、カンパも多くの方がして下さいました。『愛と革命』2冊、CD「ソリダリテイ」1枚を買って頂きました。絵画展へむけ物販で支援をして頂いている労組や公共施設などを廻りました。福島から4年前に避難してきた方は、「星野さん知っている」と2千円のカンパ。朝ビラの時、名前を告げず2千円をカンパする人、CDを5千円で買う人、「こんなことしかできませんが」と1万円をカンパする人。

8・30戦争させない集会で撒いたビラで初めて星野さんのことを知り、絵画展に来て「徳島刑務所デモに行きたい」と権力のやり方に怒る人。初めて絵にふれた人は、「星野さんのやさしさに接したようだ。絵に会えてうれしかった」と感想を述べていました。

絵画展の持つている力と、星野さんの闘いの持つている力をあらためて感じました。

星野さんの人びとを引っ張る、闘う者の魂は、働く者の魂であり、戦争法廃案、沖縄、福島……を闘う魂であり、みんなの、自分たちの魂でもある。

横浜

地域の共同作業所で開催

神奈川県 高橋 道子

労働者と「障害者」―地域の人たちの団結の砦、共同作業所内で、星野文昭絵画展を開くことが出来ました。喫茶店でもある店内は素敵なギャラリーに変身、星野さんの最新の絵を中心に15点を展示

しました。

作業所に集う「精神障害者」仲間たちにとつて星野文昭さん、暁子さんの存在は特別なものです。彼らにとつては星野さんの無実の訴えは正に自分自身の訴えなのです。「無実なのに、半永久的に監獄に閉じ込め、妻、家族、友人、全ての人々との直接のまじわりを奪い、自由な人間の生活を奪う。徹底的な服従の下で人間の尊厳が侵される。これほど理不尽なことがあるだろうか」(星野さんの陳述書)

横浜の作業所での絵画展には4日間、100名近くの方が訪れました。何よりもこの1・2年の間に通い始めたメンバーや若い職員は実にみずみずしい感想を寄せてくれました。介護職場の仲間、原発反対デモで出会った人たちも来てくれました。作業所のお隣さん、お向かいさんが来てくれたことも嬉しかったです。星野さんの絵が並ぶ店内で「星野無実」「完全黙秘・非転向」「人間の共同性」という星野精神を学び合ったことも重要でした。



会期中、作業所のギタークラブは2回ライブを行い、「ソリダリテイ」他を披露。このパワーカーは地域の国鉄集会所11・1労働者集会所へ繋げていけると思います。

9・5全国総会発言

歩く角には福来たる

いわて・岡田幸助



宮城・救う会の
斉藤さんと一緒に
2人で労働組合を
片っ端から毎月1
回、アポイント無

しで回りました。その成果として、行っ
てもいない盛岡大学付属高校から全国
事務局の方へ署名が届きました。それ
からもう一点。国労にも行きました。

そうしたら、そこからも全国事務局に
署名が送られてきました。

岩手大学は5年前まで私の職場だっ
たので、勇気を持って行きました。2、
3日後に大学に呼び出され、委員長、
書記長と一時間くらいお話しした。後日
メールが来て、署名の判断は組合員に
任せるということで回すことに決めた
と。大学に用事があつたので、どうなっ
たのかなと行ったら、なんと44筆集
まった。人間の復興大学から封筒が届
き10筆来た。要するに、歩く角には福
来るということです。行動すれば、思っ
た以上に成果が上がるということを実
感しました。

絶対に負けない力 それが星野闘争の地平

徳島・原 祥吾

星野文昭さんを取り戻す闘いの意義
が今年ほど鮮明になったことはないの
ではないか。僕自身も6・30動労千葉
鉄建公団訴訟の棄却決定の日に新分会
を結成しました。分会を一緒に立ち上
げた青年もここにきています。

7・15の国会闘争



の時に動労水戸の辻
川さんが「動労水戸
の労働運動は国家権
力に負けない団結を

9月の安保国会決戦を勝ち抜いてい
くためにも、9月冒頭の、徳島刑務所
包囲デモがその重要な出発点になるの
だと思えます。

9・6デモ感想

●9・6行動は画期的な地平を切り

開きました。裏の小高い丘からのア
ピールは圧巻でした。デモ隊が長蛇の
列になっていたため、大半の参加者は
直接には確認できなかったと思います
が、九州の隊列は先頭に近かったので
聞こえました。私ははつきりこの声
は星野さんに届いていると確信しまし
た。

九州・秋山勝行

●星野さんに面会した者の一人とし
て、刑務所へ向かう坂道を曲り上って
いく時は、なぜか予想もしなかったの
ですが涙が出ました。

私はデモの先頭の方にいましたが、

後ろを見るとブラーッと途切れること
のない仲間が坂を登って来ていて、本
当に星野闘争が労働者民衆の闘いと
ガツチリ結びついていることを実感し
ました。この力で、奥深山さんの免訴
も実現していきましょう。

沖繩・和田邦子

●徳島のみなさん本当にお疲れ様で
した。大変だったと思います。ありが
とうございました。秋田・小玉由利子

●今回が初めての参加でしたが、初

めてという実感がなかったです。總會
の熱気、懇親会での出会い、デモでの
呼びかけ、すべてが星野さん奪還に向
けて燃え上っていました。

三多摩・末木あさ子

アメリカからのメッセージ

無実の人間が、残酷・冷酷な監獄に
入れられているという言語に絶する恐
るべき状況に対して、最大の連帯を表
明します。彼は正しい人間です。彼は
戦争に反対して闘

いました。彼は起
訴された行為は、
やっていません。



キャロル・セリグマンさ
ん(写真左)はアメリカ
における政治犯救援の中
心で闘っています。

釈放されるべきです。

彼の絵は素晴らしい。そして彼と暁
子さんのアメリカの囚人との連帯を、
私は高く評価しています。日本の人民
が、自分たちの解放と星野さんの監獄
からの解放と結びついていること、そ
して米軍の日本からの撤退、原発の廃
止と結びついていることを理解するこ
とを望みます。原発は核兵器への道で
す。原発が危険なのはいうまでもあり
ません。日本は、危険な原発のために、
大変な目にあっています。

私は、資本主義・帝国主義からの日
本の人民の自己解放に連帯します。

キャロル・セリグマン

「みんなの声が聞えたよ」

星野 暁子

9月7日 720人での徳島刑務所包囲デモの翌日、差し入れ行動の20人と一緒に徳島刑務所に向かった。弟の修三さん、連れ合いのゆかりちゃんも一緒に面会に臨んだ。今回は、前回断られたゆかりちゃんも許可になった。

昨日の声が聞こえたかどうか尋ねると、「聞こえたよ。不当逮捕された街

の二人のアピール、『星野さんに続いて、完結非転向で闘えた。星野さんがいるから闘えた』というアピール、うれしかったよ。『受刑者のみなさん、頑張ってください』もよかった。「ソリダリティ」も聞こえて歌詞を改めて憶え直した。インターナショナルも聞こえたよ。うれしかったよ」そう、文昭が言った。

9月7日、差し入れ行動



「文昭。みんなで迎えにきたよ」と私が叫んで、辻川慎一さん、平良修さん、青柳葉子さんが、文昭に直接アピールをしたことを伝

えた。みんな泣いていたことも。

「獄壁がだんだん薄くなっているのを感じている。今日の行動があつてなおさらだよ。こういう情勢になつて、戦争に反対して、無期を強いられる星野の闘いと、職場、地域での闘いが、ひとつになつている」

修三さんは、「札幌に戻つてから、ゆかりちゃんといっしょに、集会はじめいろんなどころに顔を出している」と話した。「修は、地に足がつかないところもあつたけど、ゆかりちゃんといっしょに、地に足をつけて頑張つているよううれしいよ」と文昭。

「修ちゃんといっしょにパフォーマンスで太鼓をたたいている。修ちゃんが自分なりでいいと言ってくれるので」とゆかりちゃん。楽しい家族面会のひとときになつた。

文昭にしつかりみんなの声が届いたことを報告した。みんなは本当に嬉しそうだった。文昭に初めて会つた感想を聞かれてゆかりちゃんは、「イケメンでした。すてきな方でした」と一言。

「獄壁が薄くなった」

9月1日 杉並で前日までやってい

た文昭の絵画展の報告をした。「穏やかで、やさしく美しい。すばらしい」と言う感想。詩も感動したという人がいて、「自分の書いている現代詩は、いったい何だったんだらう」と言つていた人。「安倍政権はつぶれる。そうすれば星野さんも解放される」との感想も伝えた。

カレンダーに必要なあと一枚の絵は、「米沢の百合園にしようと思つている。シルバークウィークに描く」と文昭。「忙しい日々、暁子を癒すために」などと書いて寄こしていた絵の表紙は、先月から禁止になつた。残念だ。刑務所は、なぜ人の気持ちを引き裂くようなことばかりするのだろう。

文昭は、8月におこなわれた全国10箇所の絵画展全部のピラをほしがつた。大阪の八尾では、毎日佃さんが会場へ通つてくれたことを喜んでた。栃木では、文昭が知っている「大橋さんが中心にやつてくれてうれしかった」と言つていた。宮城では高経大出身の野田さんの奥さんと鈴木さんからたよりがあつたと言う。大阪・豊中の南谷さんからは、「水道の組合に署名を頼んで、2組合から百数十の署名を送つてくれたそうだよ」と文昭。「三里塚の闘い、僕にとつては大きい。成田での絵画展、どうだったんだらう」。反対同盟のみなさんも見に来てくれたこと

を伝えた。

6日のデモへの口頭アピールには、「星野と国鉄が切り開いてる力をもつてすれば、安倍政権を倒せる。その力で闘えば、星野奪還も可能だ」とあつた。

2日 2回目の面会。「壁が薄くなつたのを感じているよ」「最近、みんなとの一体感を感じるようになってくる。情勢がそうなつてきていることともある。戦争に向き合つて闘うことの素晴らしさ。それによつてみんなが未来に希望を持てる素晴らしさ。みんなが星野に出会つて、星野闘争を核にして頑張つている。ひとつに団結している素晴らしさ。戦争は労働者民衆を分断することなしには進まない。分断を乗り越えて闘えば、彼らは破綻するしかない」と文昭は言った。

4日 4回目の面会。革共同の天田三紀夫書記長が面会にきてくれた。文昭に会うことはできなかったが、思いは十分に伝わつている。

「みんなの顔も思い浮かぶ。『今日も一日頑張ろう』というのが、毎朝の目標になつている。全世界の労働者人民とも一体感を感じるようになってきているからね。同じように新自由主義の攻撃と闘つてくるからね。こういう気持ちになつたのは、最近のことだと言つた。5日間の面会と3日間の充実した闘いを終えた。

星野文昭さんの歩みと裁判・再審

- 1946. 4. 27 札幌市に生まれる
- 1962. 4 道立月寒高校入学、翌年、生徒会長をつとめる
- 1966. 4 高崎経済大学入学、不正入試阻止闘争に参加
(記録映画「庄殺の森」に登場)
- 1969 同大学再建自治会執行委員会副委員長就任
- 1971 春 成田国際空港反対闘争支援のため千葉県三里塚
に常駐 7月、9月の闘争で指名手配を受ける
- 1971. 11. 14 沖縄返還協定批准阻止闘争(渋谷闘争)に参加
1名の機動隊員がデモ隊との衝突で火傷死(渋谷事件)
- 1972. 2. 21 渋谷事件で殺人罪指名手配を受ける
- 1975. 8. 6 不当逮捕
- 1979. 2. 13 死刑求刑、死刑阻止12万筆署名集まる
- 8. 21 一審判決、懲役20年
- 12. 2 「星野・奥深山・荒川三君を救う会」結成
- 1983. 7. 13 二審判決・無期懲役
- 1986. 9. 17 暁子さんと獄中結婚
- 1987. 7. 17 最高裁上告棄却・無期懲役確定
- 10. 30 徳島刑務所移監
- 1988. 杉並と徳島で「救う会」発足
(以降、全国で29の救援会が結成されている)
- 1990. 11. 27 父、三郎さん逝去
- 1991. 5. 15 再審弁護団結成
- 1996. 1. 28 「星野さんをとり戻そう!全国再審連絡会議」発足
- 4. 17 再審請求書提出
- 8 「ゴキブリを踏んだ足を洗った」として20日間の懲罰
- 2000. 2. 22 再審請求棄却決定
- 2. 24 異議申立
- 2004. 1. 19 異議申立棄却
- 1. 23 最高裁に特別抗告
- 2006. 6 友人面会実現(以降、94人が面会)
- 2007. 6. 8 母、美智恵さん逝去
- 2008. 7. 14 最高裁、特別抗告棄却決定
- 2009. 11. 27 第2次再審請求書提出
- 2010. 3. 24 東京高裁に対して証拠開示請求
- 3~4 星野さんに2度の懲罰(1週間の閉居罰と戒告)
- 2011. 4. 4 ビデオ国賠訴訟提訴
- 11. 14 面会・手紙国賠訴訟提訴
- 2012. 2. 5 徳島刑務所包囲デモを600名で闘う
- 3. 30 東京高裁第11刑事部(若原正樹裁判長)が再審棄却決定
- 4. 3 東京高裁に異議申立
- 5 全証拠開示大運動開始
- 12. 4 証拠開示請求書提出
- 2013. 5. 17 証拠開示を求める弁護団意見書提出
- 9. 8 9・8徳島刑務所デモ
- 2014. 7. 18 面会・手紙国賠判決
- 9. 9 ビデオ国賠勝利判決
- 2015. 3. 13 弁護団「意見書」提出
- 7. 21 署名提出
- 9. 5 2015年全国総会を180名で勝ちとる
- 9. 6 9・6徳島刑務所デモを720名で闘う

全証拠開示・第2次再審署名 68,924 筆 (9月28日現在)

インフォメーション

- 群馬絵画展
日時 10月16日(金)~20日(火)
場所 高崎市シティギャラリー
主催 星野文昭絵画展実行委員会
- 山形絵画展
日時 10月17日(土)~18日(日)
場所 山形市中央公民館(アズ七日町)5階
主催 沖縄と連帯し星野文昭さんを救う会・山形
- 大阪絵画展
日時 10月23日(金)~25日(日)
場所 弁天町ORC 200生涯学習センター・ギャラリー
主催 星野文昭絵画展・港実行委員会
協賛 大阪星野文昭さんを取り戻す会、婦人民主クラブ全国協大阪南支部
- 10・21国際反戦デー
日時 10月21日(水)18時30分
場所 代々木公園けやき並木
主催 全日本学生自治会総連合
全国労働組合交流センター
- 11・1 全国労働者総決起集会
日時 11月1日(日)12時
場所 東京・日比谷野外音楽堂
呼びかけ 全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部
全国金属機械労働組合港合同
国鉄千葉動力車労働組合
国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争
を支援する全国運動

FumiAkiko カレンダー 2016 予約注文受付中



A4サイズ
カラー12枚
1冊 1200円
5冊以上 1000円
(送料別途)

注文先
星野さんをとり戻そう!
全国再審連絡会議
TEL 03-3591-8224
FAX 03-3591-8226
郵便振替口座: 00110-5-155521

● 財政報告	2015/9 単位円
(1) 収入	339,328
①賛同金	42,000
②基金	1,000
③カンパ	273,207
④頒布物売り上げ	22,770
⑤繰越金	351
(2) 支出	338,802
①獄中支援、処遇関係費	45,000
②救援運動経費	293,802
通信費	23,098
発送費	115,023
運営費	63,000
頒布物制作費	67,608
コピー	10,875
印刷代	9,532
消耗品費	3,024
事務経費	1,642
(3) 繰越金	526
● 第4期再審カンパ会計	2015/9
(1) 9月カンパ	120,195 (累計 120,195)
(2) 9月支出	75,834
(3) 前月繰越金	0

第5期再審250万円カンパのお願い

全国での絵画展の大成功の上に、9・6徳島刑務所包囲デモを力強く感動的に勝ち取りました。安倍政権の戦争・改憲攻撃に人民の怒りは高まるばかりです。星野さんを取り戻す情勢が主体的にも客体的にも煮詰まってきました。

今こそ全証拠開示一再審開始へ、運動の歴史を画する大飛躍を勝ち取りましょう。それと一体に、再

審闘争の大前進を勝ち取る決意です。第5期再審カンパ、9月は12万円余を寄せて頂きました。今期250万円カンパの達成を宜しくお願い申し上げます。

カンパ送金先

郵便振替口座 00110-5-155521
〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階
星野さんをとり戻そう!全国再審連絡会議
TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226